

学校案内ファイルやおもちゃのプレゼント	(3) 幼稚園・保育園・認定こども園との連携・交流
小学校	都賀の台小学校
<b>&lt;実施時期&gt;</b>	11月
<b>&lt;幼児期の終わりまでに育って欲しい姿に繋がる部分&gt;</b>	
「協調性」「思考力の芽生え」	
<b>&lt;活動のきっかけ&gt;</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナで交流ができないけど、来年都賀の台小学校に入学してくるみんなのために、プレゼントを作って送りたい。</li> </ul>	
<b>&lt;活動のねらい&gt;</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・園児の幼保小接続がスムーズに運ぶよう、できる範囲で本校の紹介をし、小学校生活に対する親近感をもたせる。</li> </ul>	
<b>&lt;経験する内容&gt;</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育所の所長さんが撮影した本校内の写真を、保育所の子どもに紹介する。</li> <li>・小学校の写真から、保育所との違いや小学校についてイメージをもつ。</li> <li>・保育所の所庭と、小学校の校庭の広さの違いに気づく。</li> </ul>	
<b>&lt;新型コロナウイルス感染症に対する活動の工夫&gt;</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・例年2回実施している幼保小交流イベントを1回に減らし、子ども同士の交流を無しにした。</li> <li>・幼稚園や保育所と連絡を密に取り、できることを探った。写真等を活用して、間接的に学校を知ってもらえるようにした。</li> <li>・本校に訪問した際には、校舎内に入らず、校庭で対応した。</li> </ul>	
<b>&lt;活動の内容&gt;</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育所の所長さんが、本校内を撮影して、保育所の子どもに紹介をした。</li> <li>・保育所の子どもから質問の手紙を本校校長が受け取り、回答した。</li> <li>・交流ができなくなった1年生が、新1年生向けにプレゼントを作成した。</li> </ul>	

<b>&lt;活動でみられた子どもの姿&gt;</b>	<b>&lt;環境構成・教材や保育者の援助等&gt;</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育所の子どもたちは、小学校を見たり、外部の人と接したりすることを喜んでいました。</li> <li>・ 1年生が、新入生に向けてプレゼントを作成している時には、とても嬉しそうであった。</li> <li>・ いいものを渡したいと、どの子も熱心にプレゼント作りに取り組んでいた。</li> <li>・ 都賀の台幼稚園出身の児童が、下校時にプレゼントを渡しに行くときは、緊張しながらも誇らしげであった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本校校長が対応し、一つ一つの質問に具体的に分かりやすく答え、小学校入学への不安な気持ちを和らげ、希望をもてるようにした。</li> <li>・ 1年生には、園児たちが受け取ることや、自分たちがお世話になった保育所や幼稚園の先生方が、このプレゼントを受け取れることを伝え、丁寧に作成しようとする気持ちをもたせていった。</li> <li>・ 学年の代表として渡しに行くことを伝え、自覚をもたせるようにした。</li> </ul>
<b>&lt;成果と今後の課題&gt;</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 園児たちは、4月の入学に向けて、期待や希望をもつことができた。</li> <li>・ 1年生たちは、直接の交流はできなかったものの、プレゼントを作って渡すという活動を通して、もうすぐ新1年生が入学してきて、自分たちも2年生になるという自覚をもたせることができた。</li> <li>・ 写真やプレゼントでの交流となったが、やはり直接触れ合ったり、体験したりすることが大切だと感じた。早くコロナ禍が収束して、例年通りに開催できることを願っている。</li> </ul>	
<b>&lt;カリキュラムコーディネーターのコメント&gt;</b>	
<p>交流会に代わる活動を学校と幼稚園や保育所との連絡を密に取り、できることから始めるという姿勢が子どもたちの多様な学びを引き出したと思われました。写真等の活用で学校を知る機会を作ったことが、結果、幼児からの小学校への質問を引き出し、校長との交流にも繋がりました。1年生は、交流が出来ないことをプレゼント作りで代えて、卒園児がその園にプレゼントを届けるという粋な計らいが子どもたちの自信を育て、幼児は知っている小学生と会えたことが安心になったと思われました。</p>	